

◇ ガイドでも記しましたが、まったく言葉を知らない人（数人）と英検で例えると5級以下の人（1人）で専門書を一通り訳し終えます。具体的には『ターヘル・アナトミア』の中に載せられた写真を説明している単語を写真から推測したり、前野良沢が知っている少数の単語の意味を当てはめて、その付近の単語の意味を推測する、といった地味な作業を続ける中で皆オランダ語の読解を上達させていったのでした。この翻訳の中でオランダ語を習得した人たちによって洋学は急速に発展します。

◇ 『解体新書』の発行者名には前野良沢の名前が抜け落ちています。いくつかの説がありますが、その後の前野良沢の生き様からすると、一通り訳したものの検証が十分ではなく、誤りも多いであろう書物を、完璧主義者の前野良沢は出版を渋ったと考えられます。一方の杉田玄白は、不完全でも日本にこれまでなかった貴重な知識が詰まった医学書なので多少の誤訳であろうと早く出すべきだ、検証は読者たちの手によって次々に行われるだろうと考えたようです。その結果、内容に責任を負えないと感じた前野良沢は自分の名を載せないことを条件に出版を認め、誤訳の責任は自分が負うという意思の表れとして杉田玄白が筆頭翻訳者に名を載せていることになったと考えられるのです。杉田玄白が手柄を一人占めしようとしたわけでは（おそらく）ないようです。

◇ この『解体新書』訳述のような苦労をあとに続く研究者にはさせまいと、大槻玄沢は『蘭学階梯』を発行します。これは「蘭学を学ぶ際の階段と梯子」すなわち「蘭学とは何か」からはじまり、オランダ語の基本に至るまで、学ぶ人が徐々に、一段一段梯子や階段を上るように学問を進めていくという内容の書物です。いきなり専門書に向かった師匠の苦労・効率の悪さを繰り返させない意思を感じます。彼が前野良沢、杉田玄白の弟子であることは名前を見れば一目瞭然ですね。高校時代余裕のなかった私はそれに気がつきませんでした。

そしてさらに、辞書ができれば語学は格段に効率的に学べますよね。大槻玄沢の塾に学んだ稲村三伯は仲間とともに初のオランダ語辞書を完成させます。辞書を作るときに苦労することの一つができるだけ多くの言葉を採用するのにその言葉をどうやって集めるかということです。たとえば「あ」から始まる言葉をゼロから全部探せといわれてもどこがゴールかもわかりません。そこで彼は蘭仏辞典『ズーフ・ハルマ』に注目します。オランダ語をフランス語に訳す辞書です。これをフランス語の代わりに日本語に訳すのです。（『和解』は「和訳」の意味）

◇ 国学者・平田篤胤は復古神道を唱えます。彼は国学者ですから、日本人の本来の（もともとの）精神＝儒教や仏教の影響を排した神道を提起しました。元禄文化では山崎闇斎の垂加神道が現れましたが、平田篤胤は当然これを否定します。わかりますよね？山崎闇斎は朱子学者です。朱子学の考え（大義名分論など）を神道に持ち込んでいます。国学者にとっては許せるものではありません。なお、受験知識として神道を整理したい人は図表 P. 204²に神道の歴史が簡潔にまとめられているのでこれを参照しましょう。

◇ ヘレン・ケラーの心の師とされていた塙保己一には次のような有名なエピソードがあります。

塙保己一の周りには古典を学ぶ意欲にあふれた多くの弟子が集まり、夜が更けてもわずかな灯りを頼りに熱心に保己一の講義を受けていました。保己一もその弟子たちの熱意に打たれて一心に教授していました。ところがその弟子たちの集中力が急にかき乱れ、ざわざわ騒がしくなっています。講義を続けていた保己一でしたが、「どうしたのだ。急に。」と尋ねると、弟子の1人が「先生、風で灯りが消えました。何も見えません。」と困った様子で答えます。それを聞いた保己一が「そうか。」「」と笑って答えたということです。に入る保己一のセリフは、もったいぶって次回「宝暦・天明期の文化Ⅱ」の確認に載せますね。

◇ 安藤昌益の『自然真営道』（史料¹²⁴）にはあちこちに「上無ければ」とか「下無ければ」との表現が登場します。身分差がなければという意味ですが、「上無ければ」とは要するに「武士がいなければ」とか「幕府がなければ」ということなので、この本は誰の目にも触れないように隠されたものと思われま。

◇ いまの私たちでも「今日は墓地にテント張ってキャンプだ!」とか「殺人事件が起こった部屋ですけど家賃はお安くしときますよ」といわれるとほとんどの人は「ちょっと勘弁してよ」という感じでしょう。江戸時代に懐徳堂に学んだ町人学者山片蟠桃の著書『夢の代』の一部を裏に載せました。やや意識すると「死んだ人間とは脳や血流や内臓が停止して動きをなくしたただの物体である。怨霊とかいって人は恐れたりするが、ころがったただの物体を何で恐れる必要があるか。」江戸時代にこんな合理精神を見せた人もそうそうはいないでしょう。